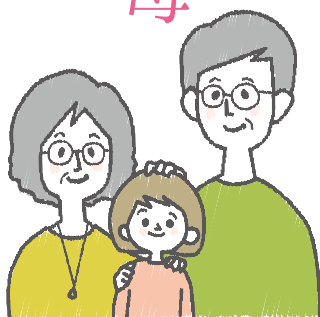


未来への



ランウェイ

私の祖父母



「孝行したい時に親はなし」ということわざがありますが、私は訳あって物心ついた時、母方の祖父母にずっと育ててもらいました。祖父は全盲で、育ててもらったというよりはいつも側に居てくれたと言った方が正解かもしれません。でもおかげで私はさびしい思いをした事が一度もありませんでした。祖母は目の見えない祖父とまだ幼ない手のかかる私の二人を抱え本当に大変だったろうなと今は思います。祖母は私に色々な事を教えてくれました。

「挨拶の言葉はキチンと声に出す事」

「笑う門には福来たる。いつも笑顔で」

「ありがとうの気持ちを忘れない様に」

「鉛筆と箸の上手に使える大人にならさい」

「字は丁寧にキレイに書く事」

「お魚はキレイに食べる事」

「五体満足に生んでくれた親に感謝する事」

「自分の名前を大切にすること」

「みの付く言葉、嫌み、ねたみの言葉を使わない」

「悪い事は全てお天道様にお見通し」等々・・・

まだまだ書ききれない事をたくさん教わりました。

当時の私は色々と細かい事を言う祖母が、何でそんな事をいつも言うのか意味が全く分かりませんでした。

祖母は習字の筆や色エンピツ、絵の具など学校で使う教材はいつもとても良い物を買ってくれました。

習字で特選の賞を受賞した時は、お仕事を休んで作品を見に来てくれました。

私は、そんな祖母と家で私が帰って来るのを待つて

学校でその日にあった事を楽しそうに聞いてくれた祖父が大好きでした。

残念ながら今は二人ともこの世に居ませんが、大好きな祖父母はずっと私の心の中で生きています。

だから、私が祖父母に教えてもらった事を忘れず守っていく事が一番の親孝行だと私は思っています。

じいちゃん、ばあちゃん、ありがとう。

今

年も、恒例のパフォーマンスコンテストが開催されました。これまで毎年、テーマを変えながら開催してきて、今回で25回目となります。今年のテーマは、『2度目の業態変更をするときがきた』AIの時代が到来しても、私たちは人間しかできない感性を磨き続ける』でした。

AIやロボットの技術が進化してきて、いろいろな場面で見かけるようになってきました。年々厳しくなってきたり人手不足を解消するために、近い将来、AIやロボットによって補うことになるのでしょうか。しかし、そこには人間とAIやロボットの特徴を生かした業務の線引きが必要になってきます。そうだった時がわが社にとって2度目の業態変更をする時であり、キーワードは『感性』であると考え、テーマが決定しました。

AIやロボットの技術は、これから先どのような進化を遂げるか、私たちでは見当もつきません。そのため、発表をしてくれた5つのチームは、発



表内容の選定には苦労したのではないかと思います。技術の進化を想像しつつ、私たち人間の持っている心や感性を生かす動きをするにはと考え、これまで実際にあったエピソードを交えた発表でした。

当日は、80名以上の来賓にお越しいただき、皆さまからたくさんの方がたいコメントを頂戴しました。

テーマにある「2度目の業態変更をするときがきた」を強く感じる各発表だったと思います。何度か参加させていただいていますが、今回ほど発表の内容、構成などが充実していた年はないのではないでしょうか。

サマンサさんがこのような取り組みをされているということを初めて知り、本当に感動しました。サマンサさんのコンシェルジュがいらっしゃるお店や病院に、ぜひ行ってみたいと思います。

発表をしてくださった皆さん、そして様々な準備をしてくださった皆さん、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

平成30年11月

代表取締役社長

守政 和浩

02 2度目の業態変更をするときがきた

AIの時代が到来しても、私たちは人間しかできない感性を磨き続ける

04 受賞チーム紹介

2018 輝く未来ファッションショー

06 来賓のお言葉

来賓アンケート

山口県民共済生活協同組合
代表理事 理事長

三浦 靖彦 様

社会医療法人 同仁会
周南記念病院 看護部長

金子 礼子 様

長野県厚生農業協同組合連合会
南長野医療センター 篠ノ井総合病院
統括院長 信州大学名誉教授

小池 健一 様

第62期上期 社員宿泊研修

08 お客様に喜んでいただくことを追求する

CONTENTS

社内交流誌
Vol. 88 季刊 サマンサ
サマンサジャパンコミュニティ情報チャンネル

第62期上期 サイトマネージャー研修

10 人間力を高めるために必要なものとは

Samansa Japan
サマンサジャパン株式会社

平成28年度にサマンサジャパンで
一年間の長期社会体験研修をされた、

宇部市立船木小学校 校長

栗林 孝幸先生 を訪問しました。

訪問者 藤田 哲彦先生 田ノ畑 弘一先生 吉武 創先生

せんせいの社会体験研修

周南市立富田東小学校 教頭

田ノ畑 弘一先生

山口県立徳山高等学校 教頭

吉武 創先生

迎えた10年目

更なる飛躍を

第1部

事業発展計画発表会

迎えた10年目

更なる飛躍を

第2部

ふれあい会

カウンセリング窓口開設のご案内

サマンサジャパン
第25回
パフォーマンス
コンテスト

社員研修

12

訪問

14

新任教頭先生の
企業研修

16

みらいジャパン

18

みらいジャパン

20

お知らせ

AIにはできない
ハイサービスを
目指すために

AI時代の到来が差し迫った今、人間にしかできない感性を磨き続けること。そして、今回のテーマでもある「2度目の業態変更」へと歩を進めるために、私たちは何をしなければならぬことは何か。

「私たちはお客様の繁栄のお手伝いをするために、さらなる努力を続けます」という守政和浩社長の開会挨拶でコンテストが始まりました。

2度目の業態変更をするときがきた

AIの時代が到来しても、私たちは人間しかできない感性を磨き続ける

平成30年10月19日、ホテルサンルート徳山にて、第25回サマンサジャパンパフォーマンスコンテストが開かれました。「私たちが目指しているもの」を表現する為に考え抜かれた5組のパフォーマンスは、笑いあり、涙ありで、会場内は感動に包まれました。



司会左 三河営業所 福井政さん 右神戸営業所 山口順子さん



守政社長挨拶



Only you are here now

発表①

S・Tが輝くこれから
徳山営業所 岩国営業所
サマンサリフォーム徳山店 広島西店

私たちが追いついていない「ここだけ、いまだに、あなただけのおもてなし」を、実話に基づく内容でご紹介しました。

ステージには実際に稼働させている自動掃除ロボットも登場しまし

た。AIやロボットを活用することで、長年勤務してきたサマンサトレイルブレイザー(先駆者)も、知識と経験を生かしながら、これからも輝き続けることができる。そんな明るい未来の姿を発表しました。



発表②

幸せのかたち

広島営業所
岡山営業所
サムタイム部

「オッケーサマンサ、その手で幸せを分けて」握る・添える・触れる・さする...手に想いをのせることはサマンサジャパンの得意分野です。また、相手が何をしたいのか自ら理解しようとすると能動的な関わりこそが人間らしさです。

実話をもとに、新人のナースエイドが成長していく過程の中で、手を通して相手に想いが伝わる様子を描きました。



"30年後の未来、あなたは想像したことがありますか？"

発表③

福岡支社 山口営業所 テクノサービス部 みらいジャパン

発表は、AIロボットのマイケルと人間の愛(あい)ちゃんによる漫才からスタートしました。

彼らは、AIと共存する世の中で、人間が失ってはいけないものは何なのかを、現代と30年後の世界を行き来しながら伝えていきます。

充実感、誇り、人を想い仲間を想う心、働くことのすばらしさ。そして、サマンサジャパンで学んだ理念と人間力。コミカルさを交えながらも、人が持つ想いの深さを30年後に届けます。



発表④

誇り あなたの瞳に私が映りこみますように

神奈川営業所 長野営業所

もしもロボットのコンシェルジュが誕生したら、という近未来を、実体験を交えながら発表しました。

AIを活用することで業務の「やり方」を効率化し、私たち人間は感性を磨き、「在り方」を追求します。「ご利用者の

瞳に私が映りこまなくては、本当にお役に立つことはできない。私たちの心配りは間接的にお客様の命を守ることに繋がっている」という誇りを胸に、ご利用者様に寄り添うことで、コンシェルジュが成長していく様子を紹介しました。



サマンサとAIの融合

新時代に創る新たな世界

発表⑤

鈴鹿営業所

最後の発表は、前年度最優秀賞の鈴鹿営業所が、人の感性とAIを融合した「STS(サマンサトータルサービス)業務」という、新たな世界の扉を開きます。

AIを導入することで品質が向上し、業務の効率化とスピーディな対応を実現しながらも、一方で、自分達が本当

にやりたかったことは何だろうという疑問も生まれます。従来の業務割から業務の垣根を越えるエリア割を導入し、感性を磨き上げたサマンサスタッフが、人と人との繋がりや会話から生まれる笑顔を大切に、そのエリアの全ての業務を担う姿を発表しました。



SQC発表

医療材料の期限切れ、廃棄ゼロを目指して!

鈴鹿営業所
海南病院
"サマンサブルー、サークル"





第25回 サマンサジャパン パフォーマンスコンテスト

受賞チーム紹介

今年は、2度目の業態変更へ向けて、AIには出来ないハイサービスを目指すために自分達で考え抜き、創り上げてきた5組のパフォーマンスは、いずれもサマンサジャパンの未来を照らす素晴らしい内容となりました。栄えある最優秀賞・優秀賞・感動賞に輝いたチームを紹介します。

最優秀賞

幸せのかたち

広島営業所・岡山営業所・サムタイム部

優秀賞

サマンサとAIの融合

鈴鹿営業所



神奈川営業所・長野営業所

誇り

あなたの瞳に私が映りこみますように

感動賞



お客様からの期待も厚いサマンサジャパンのユニフォーム。時代の移り変わりに合わせて進化してきたサマンサジャパンのユニフォームの紹介と、デザイン画をもとに作られた最新のユニフォームの数々がランウェイ上で華麗に咲き誇りました。

2018 Glorious Future fashion show



百花繚乱!

サマンサジャパンの過去、現在、未来を彩るユニフォームファッションショー



It's Showtime !!

2018 輝く未来ファッションショー

サ マンサさんには毎日、建物をピカピカにしていたいます。

特別に優秀なスタッフに担当していただいているのかと思っていたんですが、今回拝見させていただいて、皆様が等しく優秀なんだと実感いたしました。

午前の部で3つの発表を見ていただきましたが、やはり人が動くのは心だと思いました。そして、もう一つは冒頭の守政社長のご挨拶にもあった、皆で良い所を学ぶという姿勢、そして、自分で考えるといった姿勢が、とても大事なんだと感じました。

午後もあります、今日は本当に良いものを拝見いたしました。ありがとうございます。

山口県民共済生活協同組合
代表理事 理事長

三浦 靖彦 様



来賓アンケート

ご意見・ご感想より抜粋

● 利用者の想いをつかんで、満足してもらえる対応をするためには、まずスタッフの人としての成長が第一という貴社の思想が皆さんに浸透していることを再認識しました。これからも私達の事業運営に貴社のお力を貸していただけるようお願いします。

● サマンサの皆様の利用者をまっすぐ見つめて向きあわれる姿に感動致しました。皆様方一人お一人が「誇り」を持って業務にあたられていること良く理解できます。スタッフの皆様、貴社の理念教育のすばらしさを当院も見習い努力していきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。



● いつも私たちの業務を助けていただきありがとうございます。本日のパフォーマンスコンテストを拝見させていただき、サマンサさんのスタッフの方の高い人間力に感心させられる理由がよくわかり私たちにとっても必要なことを学び取り入れていけることが数多くあることに気づかせていただけました。本当にありがとうございました。SQC活動、SPDについては興味深く詳しく聞いてみたいと思いました。

社会医療法人同仁会
周南記念病院 看護部長

金子 礼子 様



初 めて会に出させていたいただいたのですが、これからA-1が入ってきた時にサマンサジャパンが、どのように在り方を考えていくのか、ということを考える非常に意義のあるものだったと感じました。そして、迫真の演技と内容で、営業所が違っても時間をやりくりしてここまでされたことに敬意を表します。

どのチームも、明るい笑顔でご利用者様に接すること、困っていればそこに手を差し伸べることを一番の基本としていて、A-1が加わった時に業務の効率化はしても、高い感性でより次元の高い業務を考えていかなければいけない、ということを我々も感じました。

病院は他職種連携が当たり前のようになっています。私達の病院でも7〜8くらいの様々な職種の業務を担っていたので、連携というのは非常に役に立つ情報だったと思います。



● 初めて、コンテストに参加させて頂きました。サマンサさんがこのような取組をされているということを初めて知り、本当に感動しました。きめ細やかなスタッフの皆さんの思いがあるからこそ、私たちは快適に仕事ができるのだと改めて、感じました。サマンサさんのコンシェルジュがいらっしゃるお店や病院にぜひ、行かせていただきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。お世話になりました。

● 本日のコンテストに参加させて頂いて一番感じたことは職員1人1人の意識、モチベーションの高さです。現状に満足せず、常に向上心をもって取り組んでいる姿は他社にはないサマンサ様の最大の魅力だと思いました。

● 「サマンサとは…」を改めて感じる事が出来ました。今後もお金で買えない価値のあるサービスの提案をしていただけることを期待しております。

長野県厚生農業協同組合連合会
南長野医療センター 篠ノ井総合病院
統括院長 信州大学名誉教授

小池 健一 様

本日にありがとうございます。



来賓のお言葉

第25回 サマンサジャパン パフォーマンスコンテスト



会長教育

ドラッカーに学ぶ経営の原則

「マネジメントの父」と称されたピーター・ドラッカーの理論について語られた『ドラッカーに学ぶ経営の原則』（トップ・マネジメント社長 山下淳一郎著）に基づいて、小野晃専務会長が丁寧な仕事の在り方を語られました。

「事業の目的は顧客の創造」とは、



ドラッカーの有名な言葉ですが、お客様の創造とは要するに喜んでくださる人を一人でも多く増やすこと。売り上げを伸ばすことを目的とせず、いかにお客様に喜んでいただくかを追求することです。結果として業績も好転するのです。

「価格の安さで選ばれるのではなく、サマサだからいい！」と言って頂けるようになりましょう。あともう少しでそこに行くところまできました」

忘れて欲しくない大切な想い

「何故理念教育を何度もするのか。それは、大切なことを忘れてほしくないから。」

小野晃専務研修

人のために汗が流せる人に

小野会長の想いを伝えていきたいと、小野晃専務は「人間力」「親孝行」「感謝」について話されました。

サマサでの人間力とは、人のために汗を流せる人であり、人間力を高めていくには感謝の心と謙虚な姿勢が



大切。感謝の心を示す一番身近な人が親であり、親の教えを後世に繋げていくことも親孝行です。

『ありがとう』が多い職場には笑顔が多く、サマサのSQCは『ありがとう』を生み出します。まずは相手のために

長期社会体験研修生

藤田哲彦先生研修

地域の先生方に「授業づくり」の研修を行ってこられた藤田先生。将来、自分が社内研修の講師をする際に、どのような手法や考え方があるのか？「研修講師の豆知識〜インストラクター〜研修の補足として」と題した研修を行いました。



第62期上期

社員宿泊研修

お客様に喜んでいただくことを追求する

何をするのかを念頭に置けば、自ずと状態はよりよく変わっていくのではないのでしょうか」と語りかけられました。

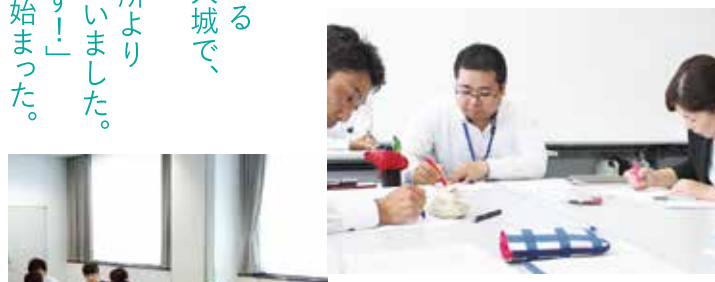


業務部研修

能登部長による業務部研修では、共有サービスの使い方についての説明や、歴史をたどることによるサマサの原点の振り返りを行いました。



「立場を自分に置き換えて考えてください。ドラッカーのマネジメントを通じて会社が何を求め、会社が何をしようとしているか、そしてみなさんは何をしないといけないのか。研修後一度自分の声で読みながら考えを深めてください」



熱心に聞く研修生

グループワーク・グループ発表

研修初日は、「自分のアイデアを活かして、さらなる高みを目指そう」というテーマのもと、グループワークを行いました。今回は年齢や社歴が概ね同じ4〜6名でグループ分けがされ、夜遅くまで活発な議論が繰り広げられました。二日目には各チームから成果の発表が行われました。他の研修生からは熱心な質問が飛び交い、小野専務からはアドバイスが贈られました。各グループのテーマとメンバーは次の通り。

●8月8日 発表分

テーマ 知識力や技術力を上げるには

チーム ヤングマン

メンバー：鬼頭、木村(誉)、石川、宗近、林

テーマ 知識力、技術力のUP

サマサのみらい

メンバー：清水、藤本、大田、藤田、佐伯

テーマ 情報共有による仕事力UP

がんばるシニア

メンバー：野口、神杉、三宅、河井

テーマ サマサポケット(進化の記録)

サマポケ制作委員会

メンバー：福井、西田、山田、角野、河村(美奈子)

テーマ 最初の出会いを大切に〜心に刺さる研修を〜

GOGO 5(ファイブ)

メンバー：酒井、櫛引、石田、小林、原田

●8月24日 発表分

テーマ 苦手な人への対話力を上げる

チーム お助けた〜い

メンバー：相本、岩本、栗山、草場、藤中

テーマ 業務社員としての質を高める〜事務作業の効率UP!〜

タブレッツ

メンバー：上野、福間、佐々木、吉田、高橋

テーマ みらい家の輪っか

みらい with Harada♪

メンバー：河村(美希)、江頭、西口、田村、原田

テーマ 私たちの技術を最大限に生かす為のプロセス

設備大好き芸人

メンバー：木村(明)、井口、前田、河村(佳)、小林

第1部

7月初旬。第62期上期のサイトマネージャー研修が
広島営業所で行われました。今期の事業発展計画発表会で示された
「AIの活用に踏み出し、AIには出来ないハイ・サービスをさらに進化させる」
という目標の実現へ向け、広島営業所のサイトマネージャー達が集います。



感動を生み出す 人間力

山口県周南市の本社ではロボット犬
「aibo」を購入し、AIを搭載し
た新たな掃除ロボットを導入するなど、
AIのディープラーニングについての検
証やどのように活用していくかの模索
が始まりました。

「ただ、AIには人間の持つ感性
は真似できません。私たち人間は感性
を磨き、SQC活動を通じて、今期の方
針でもあるハイ・サービスを進化させ
ましょう」と、研修の冒頭に小野晃専
務から話がありました。

研修では、どんな些細なことにも「あ
りがとうございます」の言葉で応対す
るサマサジャンの社員の紹介や、ある
駐車場の管理人が感謝の気持ちと謙
虚な姿勢でご利用者様へサービスを提
供することによって、感動を生み出し続
けた実例などを紹介し、私達が目指す
「人間力」について、具体的に、分りや
すく参加者へ伝えられていきました。

人間力を 高めるために 必要なものとは

第62期上期 サイトマネージャー研修

必要なのは 「感謝」と「謙虚」

小野専務が伝えられたのは、相手の
ことを思いやること。感謝の心を常に
持ち「ありがとう」と言葉で伝えるこ
と。そして素直で謙虚な心が、「人間
力」を高めることに繋がるとのこと。

「ときには素直になれない時もあるか
もしれません。私たちは人間ですから。
ただ、それが続いてしまったら絶対に成
長できません。誰かに厳しいことを言
われたとしても、一旦心を落ち着け、『あ
あ、きつと言いたかったんだ』と思



えれば、次に進めると思います。成長
するためには素直にきく心が大切」

小野専務の言葉は、私たちが立ち止
まりそうになった時に前を向く勇気を
与えてくれるものでした。結びに「私



自身は人間力が高いわけではありませ
ん。しかし、磨いていきたいという想いは
強く持っています。これからも皆さんと
一緒に心を磨いていきます。共に頑張り
ましょう」と伝えられて、研修の1部を
終えました。

大切なものを 見つめる

家族、友人、仕事、笑いなど、自分が
生きていく中で大切なモノは何かを見
つめ、また、どんな場面で幸せを感じる
かを具体的に書き出すことから研修は
始まりました。

グループ内で、その自分にとって大切
なことを再認識し、人が大切にしてい
ることを共有します。それにより、お
互いの価値観の違いを受け入れ、自分
も相手も尊重することの大切さを学
びます。

振り返ってみよう

次は仕事についての振り返りを行
います。現在、自分のサイトで気になっ
ている事や気になっている人に対して、ど
のような関わり方をしているかを振り
返ります。それをグループ内で共有し
たのち、事例を二つ取り上げ、グルー
プワークの題材にします。

職場に必要な4つの 「ソーシャルサポート」

取り上げた事例に対して、前回の研
修で学んだ「4つのソーシャルサポート」
に当てはめて、どんなアドバイス、どん
なサポートが出来るのかをグループ内
で話し合います。

4つの ソーシャル サポート

情緒的サポート
受容・応援
●心がほっとするサポート

情動的サポート
情報提供
●アドバイス

道具的サポート
実際の手助け
●業務の手伝い

評価的サポート
フィードバック
●成長的サポート

その際、最も重要なことは、相手が
自分にどのようなサポートをして欲し
いと思っているかを想像すること。そし
て、意識して4つのサポートに偏りが出
ないようにしていきます。グループ内
では活発な意見が出され、真剣な眼差
しで一言に領き、共感している参加者
の姿が印象的でした。

まとめ

イメージトレーニングの一つとして、全
員で1分間目をつぶって空を飛ぶこと
を想像します。イメージの描き方の基
本を捉え、イメージ力を身に付けるこ
とで仕事にも人生にも様々な良い効果
をもたらすことが可能となります。イ
メージトレーニングの有用性と手法につ
いて伝えられました。

最後に、自分の目標ややりたいこと
を書き出し、その実現に向けモチベ
ーションを高め、新たな気持ちで各職場へ
と戻っていきます。



第2部

上半期サイトマネージャー研修の2部は、
企画部による「モチベーションの上げ方について」そして、
の研修が行われました。

藤田先生 感想



皆さんがとても和気あい
あいと取り組んでいらっ
しゃったのが印象的でした。
話し合いも前向きで、「鳥に
なってください」と言われれ
ば、みなさん素直に鳥にな
っていたのには驚きました。(学
校の授業もこうだといいい
のです)私が特に印象に残
ったのは4つのソーシャルス
キルです。これはとても役
に立つスキルだと思うので
ぜひ業務の中で活用してほ
しいと思いました。私も学
校現場に戻ったら使わせ
ていただこうと思っています。



新任教頭先生の企業研修でサマンサジャパンにお越しになった吉武先生と田ノ畑先生、そして今年度の長期社会体験研修生の藤田哲彦先生とともに、サマンサで学ばれたことを伺いました。

肌が合った サマンサジャパン

本当に「肌が合った」としか言いようがありませんでした。サマンサジャパンに来る前に行き詰ったことがありました。稲盛和夫さんの本を読んだ「これだ!」と思っていた時にサマンサジャパンに来ることになり、来てみるとまず紹介されたのが稲盛さんの本でした。ご縁を感じました。私はサマンサジャパンに「研修」に来るのではなく、「異動になったのだ」と思って一年間を過ごしました。今でも思い出すのはパフォーマンスコンテストのパンフレット制作です。表紙のデザイン一つにもこだわりがあることを知りました。そうですね100回くらいはつくり直したと思います。それでも日々心が動くこ

宇部市立船木小学校 栗林孝幸 校長先生 訪問

栗林校長先生



にする仕事も、最初は他人事のように読み、正に処理していました。そんな時、小野会長から、会長ご自身とお父様の関係の話を聞きしました。親子の確執の話を包み隠さずさらけ出して話をしてくださったとき、私は自分でも驚くほど説明のつかない涙がぼろぼろと流れてきました。それから「ああ、この親孝行作文の一つひとつの背景に一人ひとりのさまざまな人生や想いがあるんだ。」と、「理屈」ではなく、「感じる」ようになりました。全てのことが、私の心に迫り、突き刺さり、いろいろなことに本当によく涙を流しました。

サマンサで 学んだこと

何を教えてもらったのか言葉にするのは難しいです。これが大切だよと教えてもらった訳ではありませんが、人間性や生き方、



田ノ畑先生



船木小学校校長室

心についた垢を剥ぎ落としながら芯を磨いていく

一年間の長期社会体験研修をされた、栗林孝幸校長先生を訪問しました。

平成28年度にサマンサジャパンで宇部市立船木小学校の

吉武先生



とが多かったので、乗りに乗って仕事に取り組んでいました。そんな一年間の研修が終わるとき、私は真顔で小野会長に相談しました。「会長、サマンサの社員として残る方法はないんでしょうか。」会長は笑いながら「誰かをやめさせんと入れられんねえ。」と言われました。真剣にサマンサジャパンに残りたいと思いました。

涙が止まらなくなり ました

私はサマンサに来るまでは、そんなに簡単に涙を流す人間ではありませんでした。「言っていることが正しければ言い方は関係ない」と、怒ってばかりいました。毎年、研修生が担当することになっている親孝行作文を読んで冊子

哲学、感性が大切だということを知りました。あるとき、会長に人財育成についてお聞きしたことがあります。「人ってどうやったら育つのですか。」とお聞きしたところ、「そもそも人を育てるという発想自体がおかしいのかも。」とおっしゃったのを覚えてます。しかし、研修を大切にしているサマンサは確かに人を育てていると思います。サマンサがサマンサであるのは教育の部分が大きいのは間違いないですね。以前の私は、今の自分にスキルをくっつけていくイメージで研修を捉えていました。しかし、実際にサマンサで学んでみると逆に「心についた垢を剥ぎ落としながら芯を磨いていく」感じでした。サマンサで学んだことは数多くありますが、もう分かっていると思ったら大間違い。今でも心が汚れたと感じるとトイレ掃除をしています。



藤田先生

新任教頭先生の 企業研修

いいといえる企業であることをめざし、社員一人ひとりが
幸せになるために人づくりに力を入れておられることで
した。経営者の示す経営・企業理念に向かって、
SQC、朝礼、親孝行作文等社員一人ひとりが主体と
なって理念の具現化に向けしっかり取組をされていま
した。まさしく人間教育の場でした。また、一方で、経
営者自身も謙虚に人間性を高めていかなければなら
ないことも学びました。

教頭として、サマンサ流企業経営を学校運営に是
非生かしていきます。また、自分自身が少しでもより人
間性を高めていくよう努めます。職場のみんなと半歩
を踏み出すことから始めます。サマンサジャパンの皆
様、本当にありがとうございます。

周南市立富田東小学校 教頭

田ノ畑 弘一 先生

出会いに感謝

この度は、私たちのために真心のこもった研修をし
て下さりありがとうございました。会長様をはじめ社員
の皆様全員に笑顔で温かく接していただきながら、5日
間様々な出会いの中で多くのことを学ばせて頂きまし
た。この出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。

特に、印象深かったことは、サマンサジャパンが、お
客様に喜んでいただけるよう社員がおもてなしの心を
もって働く企業であるとともに、社員一人ひとりが素晴ら

新任の教頭先生を対象とした
企業での社会体験研修で、
サマンサジャパンでは今年も
2名の先生をお迎えしました。
今回、お越しになったのは、
山口県立徳山高等学校の
吉武創先生と
周南市立富田東小学校の
田ノ畑弘一先生です。
朝の掃除や朝礼にも
積極的に参加され、
一緒に汗を
流してくださる姿が
印象的でした。



山口県立徳山高等学校 教頭

吉武 創 先生

「みんな同じ思いで働いている!」……なんと素晴らしい
ことでしょう。5日間の研修を通してたくさんの方にお
会いしましたが、一人残らず同じお話をされるのです。
ここに、サマンサの原動力を感じました。お客様の繁
栄と幸福の追求という理念のもと、生き生きと誇りをもっ
て仕事をされている姿に、私まで元気とやる気をいた
だきました。最高のおもてなしのためには、人間力を磨
き続けることが大切であり、感謝や孝行の心が原点
であることも学ぶことができました。

今は、学校現場に置き換えるとうなるのだろうかと思
問自答しているところです。どうしたら全教職員のベク

トルをそろえられ、チーム学校として生徒を夢や希望
に一層近づけられるのか。大所帯の本校では壁も高
いでしょうが、管理職としてチャレンジする力と勇気を
いただきました。また、学校には働く教職員自身の人
生を豊かにするという目標を経営の視点に取り入れた
例はありません。子どもの自己実現のお手伝いが私た
ちの仕事ですが、働く者として自分自身の人生の向上
も目標であるべきだと気付きました。なかなか進まない
教職員の働き方改革で、その手だてを模索していた
私にとって「そうだ。ここだ!」と光が見えました。

あっという間でした。もっと見てみたい、できれば一
緒に働きたい。心からそう感じています。この5日間を
宝物にして、精一杯努力します。本当にありがとうございました。

に、人として、管理職として、志と目標を持ち実現に向
けて自分の行動を変えていく勇気をいただきました。半
歩ずつ前に歩み出していく所存です。

なお、私どものための真心のこもったサマンサ流の
研修を計画していただいた企画部の中村部長様、
藤田様にも深く感謝しております。重ねてお礼申し上
げます。

この度の研修をご縁に、今後とも、ご指導、ご鞭撻
を賜りますよう心からお願い申し上げます。

末筆ながら、会長様をはじめ社員の皆様のご健勝
と益々のご活躍を心より祈念
いたしましてお礼いたします。

敬具

後日、お二人の先生から
手紙が届きました。
その内容は、とても温かく、
また私たちの励みになるようなお手紙です。

※お二人の先生にご了承いただきましたので、ここに紹介いたします。

吉武
創
先生



拝啓、
残暑の候、小野英輔様におかれましては
ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先日は「せんせいの社会体験研修」におきまし
て、御社の皆様に温かく受け入れていただき、多くの
方々から丁寧なご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

五日間の研修を通して、御社の経営理念、企業理
念とその具現化のために社員一人ひとりが主体となっ
て働くための様々な仕組みを学ぶことができました。
特に小野会長の崇高なビジョンと日々のたゆまぬ努力
とチャレンジ精神のお話と、その元で同じベクトルを
持って働く社員の皆様の明るい笑顔と生き生きと働く
姿に心から感動いたしました。御社で学んだことを胸

新任教頭先生の 企業研修



せんせいの 社会体験研修

の先生に、そうか自分が変われば、周りも変わるんだと
気付かされました。

すぐに実践にうつしたことが、ひとつだけあります。そ
れは顔を☺にして、明るくあいさつをすることです。教
頭席のまわりが明るくなった感じで、飛び交う会話が多
くなった気がします。これからも教えていただいた一つひ
とつのことを、自分なりに消化しマネジメントに生かして
いこうと思っています。少しずつですが。

小野会長、守政社長様をはじめ、中村部長、藤井
所長、相本様、そして藤田先生…

すべてのお世話になった方々に感謝の心でいっぱい
です。緊張していた私たちに、そっと出してくださった朝
のコーヒーの味も忘れません。

教えていただいたたくさんの事を生かし、山口の次
の世代をリードすることのできる若者を、必ず社会へ送
り出していきたいと考えています。併せて、職員室に集
う教職員の豊かな人生のために学校マネジメントに努
力したいと思います。これを御縁に、今後ともどうかよろし
くお願いします。

最後になりましたが、サマンサジャパンのますますの
御発展と、皆様の幸せをお祈りいたします。本当にあ
りがとうございました。

敬具

拝啓
初秋の候、ますます御活躍のことと思います。

サマンサジャパンの皆様も、あの温かい笑顔で毎日
の業務に励まれておられることでしょう。

さて、今夏につきましては、お忙しいにもかかわらず、
私の社会体験研修を受け入れてくださりまして、本当
にありがとうございました。5日間という短い期間ではあり
ましたが、私にとって内容のとても濃い、そして貴重な時
間でした。

働く社員や、その家族の人生を豊かにすることを目指
すという理念、そして全社員が一貫してもっておられる
お客様へのおもてなしの心…これほど集う者全てが
共通した方向を向いておられることに、大変おどろくと
ともに、組織をまとめて、存続させるということはどうこと
なのか、心にはっきりと刻むことができました。そしてその
根底には、人間力をみがきつづける歩みが必要である
ことも、理解できました。

早速、勤務校で夏休みのために埃がたまった階段
をそうじしながら(もちろん背筋を伸ばし、ほうきの柄の
頭に親指をそえて「見せるそうじ」を心がけました)、学
校現場にどのように取り入れればよいか自問自答をし
ました。まだ答えはわかりませんが、そっとちりとりを持
て来て私が集めていた埃を取ってくださった通りがかり

せんせいの 社会体験研修

9月14日、株式会社みらいジャパンの社員・スタッフ、そして来賓4名を含む総勢209名が山口県下関市のシーモールパレスに集い、第10期事業発展計画発表会とふれあい会が開催されました。

迎えた10年目

更なる飛躍を

事業 発展計画 発表会

第1部



小野 英輔 会長

「皆さんのおかげで会社は順調に進んでおります。本当にありがとうございます」

昭和43年に発足した株式会社みなどから独立した株式会社みなどと警備保障と株式会社みなどと保清が、平成21年に2社が合併し社名を変更し、株式会社みらいジャパンとなり、今年で10年目を迎えました。

100の会社があつても10年後には6、7社程度しか残れないと言われる世の中で、飛躍を続けるみらいジャパンの社員・スタッフ。第10期を迎える株式会社みらいジャパンの事業発展計画発表会は、小野英輔会長の社員・スタッフを称える賞賛の言葉から始まりました。

名指しで「みらいジャパン」へ仕事の依頼をいただけるようになるためにも、下関という地域の特性を理解し、MQCをより進化させていくことが重要であると小野眞嗣社長から会場にいる社員・スタッフ達へ伝えられます。AI（人工知能）という新しい時代の流れによつて淘汰される業種が出てくる中、MQCの実行を原動力とすることで、お客様から必要とされる会社になるという目標が掲げられました。

みらいジャパンの社員・スタッフの表情は真剣で、その瞳の輝きはこれからの更なる飛躍を予感させるものでした。

最後に、河村美希さんが社員を代表して決意表明を行いました。株式会社みらいジャパン10期目の出航へ向けて、MQCを活用することと売り物を磨き、明るく元気で活力のある地域ナンバーワンの会社になることを誓い、第10期事業計画発表会は閉幕しました。

感動創造企業
株式会社 **みらいジャパン**



1部司会 加藤さん



小野 眞嗣 社長



会場 シーモールパレス



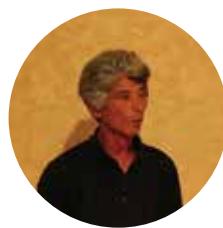
決意表明 河村 美希さん



中野浩幸様による乾杯



山口銀行取締役本店営業部長 中野浩幸様



永年表彰をいただきましてありがとうございます。

一同を代表してお礼の言葉を述べさせていただきます

この表彰は私にとって身に余る栄誉というだけではなく、この20年を振り返る良い機会になりました。入社以来、私には数えきれないほど多くの出会いがありました。上司や先輩の方々、そして、同僚や後輩の皆さん。私にとってはそのどれもが大切な出会いであり、そこから多くのことを学ぶことができ、多くの経験をすることができました。今の自分があるのはその人たちのおかげだと思っております。

しかし、勤続20年にはまだ道半ばです。これからも、人との絆を大切に、より一層の努力を重ね、会社の発展のために尽力いたしたいと思います。これからも変わりないご指導をいただきますようお願いいたします。お礼の言葉とさせていただきます。

謝辞

永年勤続表彰20年
本田洋さん(警備部)



最も会場が盛り上がったくじ引きによるプレゼントタイムでは、小野会長をはじめ、役員、来賓の方々かくじの番号を読み上げる度に場内が盛り上がります。会場内は参加者達の笑い声で溢れ、久しぶりに顔を合わせた仲間たちとの食事に皆が顔を緩めました。

最後は、西京銀行常務執行役員下関地区統括部長の岡田浩様から「お客様を大事にすること、社員を大事にすることが会社発展の秘訣」という言葉をいただき、今期のふれあい会を終えました。

感動創造企業
株式会社 **みらいジャパン**

さん。勤続10年の中川吉正さん、古賀千恵子さん、植田香織さんらの10名。そして、優良表彰として田村清さん、藤原英雄さん、井上雄平さん、藤永喜美江さん、有重俊子さんから5名が表彰されました。謝辞を述べた本田洋さん、田村清さんを含む計15名には会場内から温かい拍手が惜しみなく送られました。

第2部のふれあい会は、みらいジャパンの役員、社員、スタッフとの交流を行う懇親会。「皆で知恵を出し合ったMQCで起こす小さな変化が、何年後かに大きな変化になります」という小野英輔会長の期待の言葉と、山口銀行取締役本店営業部長の中野浩幸様による乾杯の挨拶でふれあい会がスタートしました。

ふれあい会

第2部



2部司会 江頭さん(右)と小西さん(左)



【カウンセリング窓口開設のご案内】

平成30年7月に、
カウンセリングの窓口を開設しました。
サマンサジャパンの従業員と
そのご家族（親・子・配偶者）でしたら、
どなたでも利用できます。
プロのカウンセラーが
対応してくれます。

【よくあるご相談内容】

仕事、人間関係、プライベート、
家族、恋愛、将来、性、なんとなく...など、
こころの健康を振り返る機会として、
利用してみてください。

職場の人のことで...
仕事があうまいかなくて...
夫婦関係が...
子どもとあまり会話がなくて...
将来に漠然とした不安があって...
病院に行ったほうがいいのでしょうか...
こんなことで相談していいのかわかりませんが...



Q

カウンセリングでは
何をしていますか？

A

カウンセリングでは、あなたの悩みや
気になっていることを、対話を通して、
解決の糸口を探していきます。あなた
の思いを自由に話していただき、整理
していくことで、問題解決へのヒント
が見えてきます。

Q

何回利用すれば
よいのでしょうか？

A

相談内容によりですが、1回で終わる
こともあれば継続が必要な場合もあり
ます。
2回目以降のカウンセリングについ
ては、あなたの意思で決めることがで
きますので、継続したい場合にのみご
利用ください。

Q

どんなことを
相談するのですか？

A

相談内容に制限はなく、自分以外の
誰かについてのご相談でもかまいま
せん。日々の生活の中で、スッキリし
ない気持ちやストレスに感じているこ
となど、まずは「思うままに話してみる」
ことが大切です。

Q

相談内容は勤め先に
知られませんか？

A

相談内容や個人情報、相談者の許
可なく第三者へ伝わることはありません[※]。安心してご利用下さい。
※一部例外を除きます。(本人又は第
三者の生命が危険にさらされるおそ
れがある場合など)詳しくは問合せく
ださい。

Q

カウンセラーは
どのような人ですか？

A

カウンセラーは臨床心理士、精神保
健福祉士、産業カウンセラー、キャリ
アコンサルタントなどの資格を持ち、
心理学を専門にしている相談のプロ
フェッショナルです。年代も30代～60
代まで幅広く、相談内容やご希望に
応じて、カウンセラーをご紹介します。

Q

すぐに
利用出来ますか？

A

フリー電話相談であれば、当日すぐの
ご利用が可能です。思い立ったらご
利用ください。一方、予約相談につい
ては、相談内容に合ったカウンセラー
を手配するのに少々お時間を頂戴す
ることになります。あらかじめご了承
ください。

ご都合・ご希望に合った カウンセリングが選べます。

- カウンセリングの概要** 利用対象者：従業員と、そのご家族（親・子・配偶者）
※ご利用の際には、【契約団体ID】と【パスワード】が必要です。
- カウンセリングの内容** フリー電話相談は回数制限なしで、無料でご利用可能
- フリー電話相談（無料）**
20分間/回（回数制限なし）
予約不要
申込：電話（そのまま相談へ）

以下の3つのカウンセリングは、いずれか5回まで無料で利用可能。
（6回目以降は個人負担）

予約電話相談

50分間/回
要予約
申込：電話or専用HP

インターネットTV相談

50分間/回
要予約
申込：専用HP

メール相談

1往復/回
予約不要
申込：専用HP
（そのまま相談文送信）

予約のキャンセル・変更：予約日の前営業日17時までならキャンセル・変更ができます。
それを過ぎると1回分ご利用済みとカウントされますので、ご了承ください。

連絡先

お申込み・お問い合わせ・フリー電話相談・電話相談

0120-922-307

東京メンタルヘルス・カウンセリングセンター

営業日・休業日 月～土10:00～21:00
日10:00～19:00
祝&年末年始 休

お申込み・ご利用方法詳細・セルフケア情報

www.tmaweb.net/msn/

専用ホームページ メンタルサポートネット/契約団体カウンセリングサービス

注意：セキュリティの面から、
職場のパソコン・共用のパソコンでのご利用は
お勧めしません。

